

身になる気になる話シリーズ②

— 脳卒中後の生活 —

脳卒中になってしまったら、入院生活やその後の暮らしなど、不安や問題がたくさん発生してしまいます。そのような不安や問題を解決するための専門家である医療ソーシャルワーカーから、「脳卒中後の生活」という視点で、お話しさせていただきます。

★医療ソーシャルワーカーとは？

医療ソーシャルワーカーとは、「社会福祉士」という国家資格を有する職員で、患者さまやご家族の、気持ちとくらしに寄り添いながらお話をうかがい、生活上及び入院上の不安等、様々な課題解決のお手伝いをさせていただきます。専門家です。

★もしもあなたや大切な人が脳卒中で倒れてしまったら…

脳卒中は突然の発症です。突然のことでいろいろな不安や問題が生じる方もいらっしゃると思います。たとえば、「これからの病状はどうなるのだろう」、「入院費用のことが心配」、「仕事を入院前のように行えるだろうか」、「寝たきりの家族を家に連れて帰りたいのだけど、介護する人が私だけで心配」「収入がなくなり、生活が苦しい」等々。医療ソーシャルワーカーはそのようなご相談に対し、患者さまやご家族と一緒に解決を図っていきます。

★自宅での生活に不安を感じたとき

ご自宅へ退院するにあたり、体にマヒが残ってしまったなど、生活を送っていくうえで困難が生じた場合、介護保険の制度や障害者総合支援法等の公的サービス、また地域によっては自治会等が行っているサービスなどがあります。ご自身の生活の中にこれらのサービスをうまく組み合わせていくことで、自宅での生活を続けていくことが可能です。

★リハビリテーションの継続が必要となったとき

脳卒中で、継続的なリハビリが必要になった際に、回復期リハビリテーション病院というリハビリの専門病院へ転院することがあります。この病院はリハビリを集中的かつ専門的に行う病院です。リハビリの時間も救急病院と比べると長くなります。もし転院の必要性が生じた場合は、患者さま・ご家族のご希望になるべく添うような病院と一緒に探させていただきます。また患者さまの状態やご家族の希望をもとに、長期療養ができる病院や、施設への入所のお手伝いもさせていただきます。

相談受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:30
土曜日 9:00～13:00
※日曜・祝日は不在となります。

- 予約優先とさせていただきます。
- 入院中の方は各病棟のスタッフステーションへお声がけください。
- 外来の方は総合受付、病院スタッフへお声がけください。
- お電話でのご予約も可能です。



医療ソーシャルワーカーは、ご相談の希望がありましたら、入院・外来を問わず、お話をお伺いいたします。入院に伴って発生した問題や課題の解決と一緒に図っていくなど、病院の中でも生活者の視点を持った職種です。「こんな質問も聞いてもらえるのかしら？」お任せください！紙面上ではご紹介しきれないことがたくさんありますので、お気軽に医療ソーシャルワーカーにお声がけください！

医療ソーシャルワーカー やなぎさわ いさお 柳沢 功



高島平中央総合病院 IMSグループ広報誌 プラザイムス “さくらんぼ” Vol.14 2016.3

発行日／2016年3月 発行／高島平中央総合病院 地域医療連携室
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-73-1

IMSグループ 医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院 TEL.03-3936-7451(代表)

<http://www.ims.gr.jp/takashimadaira-hosp/>



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

＊ 脳神経センターで挨拶 ＊

高島平中央総合病院が新病院に移転すると共に私どもの脳神経センターが開設されました。現在私を含め常勤医師3名と看護師を始めとするパラメディカルと共に日々の診療にあたっております。脳神経センターでは脳卒中や外傷などの救急医療の充実、特に最新鋭の脳血管撮影システムを用いた脳卒中急性期治療に力を入れております。また、私個人としては神経内視鏡を用いた脳腫瘍や水頭症に対する手術を積極的に行い、患者さまに低侵襲な治療を心掛けております。昨今、高齢化社会をむかえ脳卒中患者数は増加の一途を辿っており

ます。脳卒中、特に脳梗塞に対しては一分でも一秒でも早く治療することがその患者さまの予後を左右します。それにはより綿密な医療連携とスタッフ一丸となったチーム医療が大切です。

私ども脳神経センターはスタッフ一丸となり、脳卒中から脳腫瘍まで幅広く患者さまを積極的に受け入れ、少しでも地域医療に貢献していきたいと考えております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

脳神経センター 脳神経外科部長 福島 崇夫



左から いしはら りゅうたろう 石原 隆太郎 先生 ふくしま たかお 福島 崇夫 先生 やち かずなり 谷地 一成 先生



Neurosurgery

神経外科

最先端の技術と設備で高度な医療を提供

新病院への移転に伴い、「脳神経センター」を設置しました。脳疾患全般に対して対応が可能です。診療機器も最新のものを取り揃え、早急な治療が必要な方に、迅速かつ質の高い医療をご提供できるようになりました。



脳梗塞 に対してはt-PA静注療法を常時行える体制を整備しています。これは脳内に発生した血の塊=血栓(図1)を注射と点滴で溶かし、血流を回復させる治療です。血流がなくなると脳細胞は死滅してしまうので、発症から4.5時間以内での対応が必須となっています。しかし発症から4.5時間なので、誰の目も届いていない時に発症した場合、発見された時にはすでに数時間経ってしまっているということが往々にしてあります。そしてまた、救急車を呼ぶべきか否かを迷っている時間や、救急車で搬送されている時間、病院に到着してから診断が出るまでの時間、とあっという間に時間が過ぎていきます。まさに時間との勝負になります。

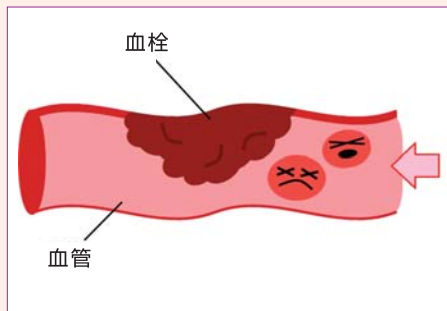


図1 血管内に発生した血栓のイメージ

4.5時間が過ぎている場合やt-PAが無効であった場合、閉塞部を再開通させるための次の手段として血管内手術(図2)があります。当院では2014年3月に認可の下りた最先端血管内手術器具である、トレボ(図3:Trevo ProVue Retriever)を有し

ており、従来の器具よりも血栓の回収率に優れ、早期の血流再開が望めるとされています。



図2 血管造影室にて血管内手術の様子

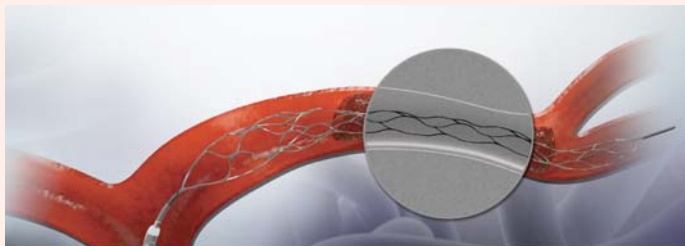


図3 スtent(金属の網目状の筒)が血栓内で広がることで、血栓そのものを絡み取る。その血栓をstentごと引き抜くことで血流が再開。



図4 内視鏡を使用した脳腫瘍摘出術の様子

脳腫瘍・下垂体腫瘍 に対してはハイビジョン対応の内視鏡とその固定具(EndoArm エンドアーム)を使った、体への負担が少ない低侵襲手術(図4)に積極的に取り組んでいます。神経内視鏡の特徴は、傷口の大きい開頭術とは違い、①傷を最小限の大きさで留めることができること、②視野を広く保てること、③深いところにある腫瘍でも近づいて観察できること、などが挙げられます。鼻腔から内視鏡を用いて下垂体腫瘍を摘出するもので、外見上も手術の傷跡は見えません。また入院期間も1週間程度で済むという、非常に体への負担が少ない手術です。

未破裂動脈瘤

は、脳の血管の壁にコブ(瘤)ができたものです。このコブの血管の壁が薄くなったところは血流や血圧で破裂する危険性があります。動脈瘤は薬を用いた内科的治療では破裂を防ぐ事はできないため、物理的に動脈瘤内への血流を遮断する必要があります。

現在のところ、治療法は大きく分けて2つあり、ひとつは開頭手術を行い、動脈瘤の根元にクリップという特殊な洗濯ばさみのようなもので閉じてしまう方法(図5:クリッピング術)と、もうひとつは開頭しない血管内治療で、動脈瘤内にコイ

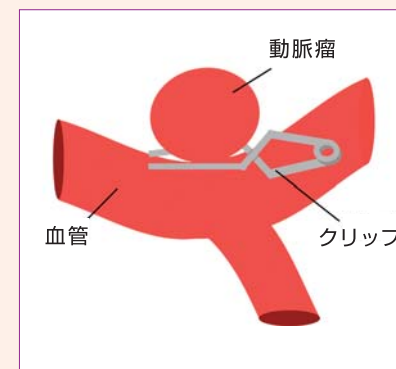


図5 クリッピング術 イラスト

くも膜下出血

は、上記の動脈瘤が破裂した状態です。症状としては、突然今までに経験したこともないような激しい頭痛や嘔吐が起こります。発症しやすい年齢は50～60歳代で、女性のほうが

ルを詰めて動脈瘤を閉塞する方法(図6・7:コイル塞栓術)です。どちらの治療を選択するかは、脳動脈瘤の大きさや場所、年齢などの条件によって異なります。

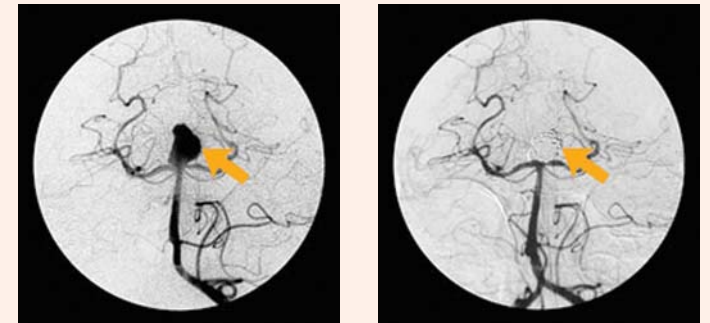


図6 未破裂動脈瘤(左)にコイルを詰めて血流がなくなった(右)

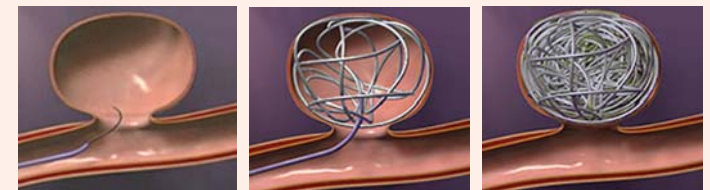


図7 コイル塞栓術 イラスト 動脈瘤にプラチナ製のコイルを詰める

男性よりも2倍多いと言われています。発症原因としては喫煙、多量飲酒、高血圧、高コレステロールなどが挙げられます。治療法としては動脈瘤と同じで、クリッピング術・コイル塞栓術がメインとなります。

脳の病気は特に、早期発見・早期治療が重要です。できる限り長く、健康で生き生きとした生活を送るためにも、自分の脳や体のヘルスチェックとメンテナンスをお願いいたします。

検査内容 頭部 MRI + MRA (単純) と 頸動脈エコー
※脳梗塞、脳腫瘍、脳動脈奇形、もやもや病、未破裂動脈瘤(くも膜下出血の原因因子)等を発見できます。

予約方法 総合受付またはお電話にて

予約受付時間(平日のみ)

月～金曜日 9:00～13:00
14:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

金 額 25,000円(税込)
※保険適用ではありません

検査結果 後日、ご自宅へ郵送いたします。



自分。
日頃の感謝を込めて
両親に。
長く元気でいほしい
祖父母に。
ずっと笑っていてほしい
大切な人に。
誕生日やクリスマス、
特別な記念日の贈り物として。



脳ドックを贈ろう